

校訓
自主 向学 敬愛

高江中



薩摩川内市立高江中学校
〒895-0131 薩摩川内市
高江町654番地1
Tel 0996-27-2003
Fax 0996-27-2065
平成26年8月号

保護者の皆さんへ

長い夏休みも残り僅かとなつてまいりました。お子様の夏休みの課題は計画的に進んでいるでしょうか。

昨年の八月号では、この紙面で成功体験の大切さについて述べさせていただきました。

今夏は、子どもたちが夏休みを計画的に過ごし、期日までにきちんと課題を提出し、生徒全員が成功体験を味わうことができますように、夏季休業中に五回の課題チェック日を設けました。

それでも、とかく夏休みというものは、生活が不規則になりがちです。勉強は学校、躰(しづ)け(は)家庭、という役割分担が原則と考えますが、この長期休業中にお

きましては、保護者の皆様方の子どもたちへの温かい励ましを、特にお願いします。

先月号でも述べましたように、全員部活動を原則とする本校では、部活動の前に学習会を開設しています。

部活動前の学習会と家庭での計画的な学習で、

順調に課題を進めている生徒は問題ないのですが、どうしても課題が順調に進められない生徒につきましては、是非、学校での学習をお勧めください。

職員にとりましての長期休業は、学期中にできない研修や、学期中に取れない年休取得を計画的に進める期間です。しかし、必ず何人かの職員が勤務しておりますので、生徒の質問や相談には対応できると思います。

残り少ない夏休みです。できるだけ早く、お子様の課題の進み具合を確認できますよう願っています。行事が盛り沢山の二期の足音が、すぐそこまで来ています。

修学旅行の裏事情

二期の行事の中に、二年生にとりまして生涯の思い出となる修学旅行があります。今年度は十二月に計画していますが、極小規模校である本校の修学旅行の準備につきま

介したいと思ひます。

一般的に、中学校の修学旅行は、二泊三日で計画します。鹿児島県では、大半の中学校がその中に平和学習を組み込みます。コースといたしましては、

沖縄戦があった沖縄県、被爆地の長崎県と広島県を組み入れたものがポピュラーです。

割合としましては、長崎県・熊本県・福岡県を回るコースが最も多いと思われまふ。それに次いで、広島県・山口県を回るコース、そして、沖縄県の本島を回るコースと

いった順番でしょうか。大島地区の学校の中で沖縄県コースの修学旅行を計画している学校があまりありませんが、大島本島では一部の学校でした。ただ、本県最南端の与論島の人々にとりましては、頻りに沖縄本島に渡つて

いるとのことでしたから、大島地区南部の中学校にとりましては、沖縄県は身近なものなのでしょう。また、交通手段は、終始貸切バスを利用するところが殆どで、中小規模

の学校の中には飛行機や新幹線を利用するところがあるようです。やはり、大規模校におきましては生徒管理が大変だからと思われまふ。

次に経費ですが、旅行総費用を参加者で均等分担する形で算出されますが、大規模校で四万円台、

中規模校、小規模校になるにつれ、その負担額は増えることになりまふ。ちなみに、平成の初めのころ、鹿児島市立清水中(対象学年六級・生徒数約二百八十人)で二万七

・八千円、平成八年の鹿児島市立黒神中(対象学年生徒数八名)で約五万六・七千円でした。

さて、本校の修学旅行ですが、対象生徒数五名・引率職員四名で実施する予定です。コースは山口県・広島県コースです。この人数でバスを借り切つたりバスガイドを付けたりしますとかなりの額になりまふ。そこで、本校ではバスガイドを付けません。

全て引率職員が準備をしてバスガイド不在を補います。これで、一人あたりの負担を約一万円節約することができまふ。

次に、往復に新幹線を利用し、途中の移動を公共交通機関等を利用しますが、オフシーズンの十

二月を利用することによつて、更に経費を節約できまふ。更に、広島県の安田女子大学の協力を得て、広島市内の研修を行います。経費は無料です。

そうやって、結局のところ、この規模の学校で一人あたりの経費を五万円台にまですることができました。これはひとえに、担当職員の努力の賜です。

バスガイド不在を補うため、七月末に職員二名が下見に行つてまいりました。修学旅行の下見のための予算もそう思う限りませんので、「今年に限る」を条件に、コース固定化を念頭に入れた研修視察でした。

以上のような苦心のもと、十二月の修学旅行を実施します。

二年生の皆さん、楽しみにしててください。

事務の先生が替わりました。

八月十八日から、事務の諏訪明子先生が産休に入られ、その代替として、八月十五日から、北かおり先生が着任されました。諏訪先生同様、どうぞよろしくお願いいたします。

九月七日(日)は、PTA資源リサイクル活動の日です。

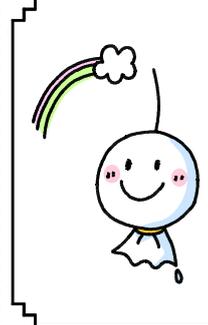
九月七日(日)に、PTA資源リサイクル活動を実施します。昨年同様、今年も御協力よろしくお願ひいたします。

今年もやつてきた高江の夏祭り

八月十五日(金)、内山富雄会長の号令の下、早朝五時半集合。蒼々たる高江一日クラブのメンバーで、夏祭りの準備。自分は、勤務のため八時前に離脱。離脱後も他のメンバーが懸命に準備を進めている様子が、この校長室からも聞こえている。(実は、自分はこの原稿を目下作成中。)

昨日までは悪天候のために体育館開催を考慮されたようだが、今朝は一転、根性で晴天にしてみせると言わんばかりのメンバーの気概。

この分なら、今年も想い出に残る夏祭りができる。自分も、これから準備に加わろうと思ふ。



第1回薩摩川内元気塾開催

7月18日(金)、講師に(株)柳山ウィンドファーム代表取締役の永田善三さんをお招きし、多くの地域の方々の出席をいただき行いました。今年度柳山の風力発電所の竣工を迎える永田さんの「故郷にある風力発電所」と題した講話は、私たち聞き手の心を打つ内容で、生徒に多くの勇気とやる気を与えてくださいました。生徒は、これまでの自分を振り返り、ふるさとのことや自分の進路について学ぶすばらしい機会になりました。



【生徒の感想より】

自分も大人になって、高江に恩返しになるようなことをしたいと思いました。

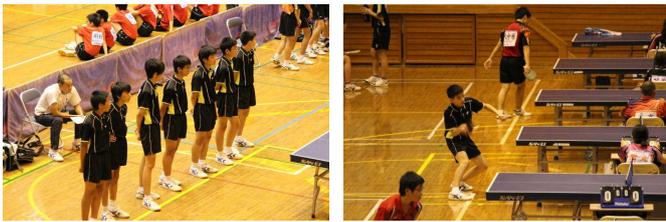
風車の詳しい話を聞くことができ、風車の見方が変わりました。すごいと思いました。

風車を建てるまでにたくさんの苦労があったことに驚きました。柳山を誇りに思います。

僕も大人になったら、故郷である高江を今よりももっと良くするために町作りをしていきたい。

卓球部が中体連県大会出場 力を出し切り頑張りました！

7月23日(水)・24日(木)、松元町平野岡体育館で行われました。団体戦は、初戦に紫原中(鹿児島市大会の優勝校)と対戦し、あと一歩というところまで追い詰めましたが惜しくも敗退。一方、3年生の清田大輝君は2回戦から個人戦に出場し、見事初戦北指宿中を突破したものの、3回戦で志布志中に敗退でした。3年生にとっては、最後の夏が終わりました。締めくくりの大会でしたが、選手それぞれに思い出に残る大会になったことでしょう。



【清田キャプテンから一言】

団体戦・個人戦で県大会に出場することができた。緊張したけれど、あきらめずに試合をすることができた。また、後輩たちには来年も県大会にいけるように練習をがんばってほしい。期待しています。

諏訪先生 産休に！

事務職員の諏訪明子先生が、18日から出産に備え産前休暇に入りました。後任の北先生は次号で紹介いたします。



日中友好スポーツ等交流派遣

8月2日(土)～6日(水)の間、2年生の勝山正昂君が薩摩川内市の代表の一人として参加しました。他校や中国の中学生と卓球をして楽しく交流を深めたようです。彼にとっては初めて訪れた外国であり、貴重な体験をたくさんしたことでしょう。今後は、彼が中国で見たり、体験したりしてきたことを他の生徒にも伝えてもらい、学ぶ機会をつくりたいと思っています。



【感想】

中国では、いろいろなことを学んだり、見たりしてきました。まず、僕が驚いたのは飛行機です。離陸するときにはめちゃくちゃ重力がかかって耳が痛かったです。でも、空の上の景色は最高でした。中国といえば、大気汚染や食べ物に関するをよくニュースで聞いていて怖いイメージもありましたが、意外に中国は安全で、料理もおいしかったです。卓球の交流では、中国で世界大会に出場した人もおり、すごく強かったです。この4泊5日でいろいろなことを知ることができて良かったです。

2年 勝山正昂



PTA資源リサイクル活動

9月7日(日) 10:00～ <雨天時は14日>

場 所：高江中学校校庭

回収品：段ボール、雑誌、新聞紙、ペットボトル、アルミ・スチール缶、ビール瓶、一升瓶、ペットボトル、金属類 詳細は別紙を！

9月 主な行事予定

日	曜	学 校 行 事 等
1	月	始業式、実力テスト～2日(全年生)、薩摩川内いじめのない学校づくりの日
3	水	3km ロードレース
4	木	生徒会役員立合演説会
5	金	合同計画訪問(北薩教事所・市教委)
7	日	PTA 資源リサイクル活動(10:00～)
17	水	小中合同運動会予行
19	金	合同運動会会場準備、SL 来校
21	日	平成26年度小中合同運動会
25	木	SC 来校、藺牟田池試走